

# スーパーソル 施工イメージ図

● 給水管

● 給湯管

● 排水管

■ 仕上げコンクリート

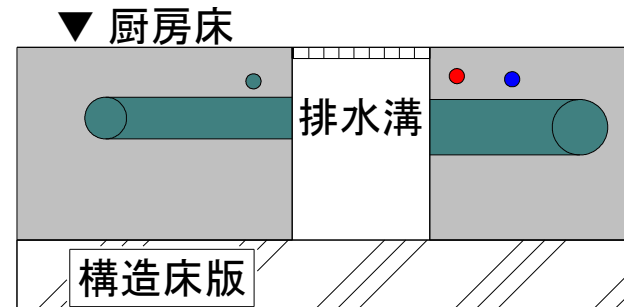
● 給水管

● 給湯管

● 排水管

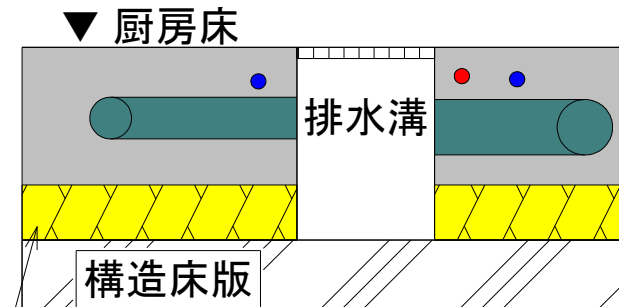
■ スーパーソル

■ 仕上げコンクリート



コンクリート量が多く  
重量が増す

配管の下にポリスチレンフォームを  
施工する場合、断片化され  
施工品質および施工精度が低下する  
また配管には勾配がある為  
施工不可能な箇所が発生する場合があります



スーパーソルを施工することで  
コンクリート量が減り重量が  
低減する

厨房などにおいて図の様に配管を埋設する場合、  
排水勾配を考慮し、あらゆる方向から接続されてくる。  
一般的に荷重軽減の為ポリスチレンフォームを用いる場合が多い。  
配管の間隙を補填する為にカットして敷き込みするのであるが  
部材そのものが細分化される為、一旦敷き込んだとしても  
コンクリートを流し込む際に、その流動圧によって流されてしまう。  
一方スーパーソルを敷き込んだ場合、配管の間隙に充填することが  
容易であり、ポリスチレンフォームに比べ、至って施工性が良く  
その流動圧によって流されることはほぼない。

## 大手電機メーカーで採用に至った経緯

厚生会館2階の厨房を新たに改装する際  
厨房の床に配管が多数埋設されることが分かっていた。  
一般的にポリスチレンフォームを用いて荷重軽減を図るが  
埋設配管が多すぎて施工性に問題があるとのことであった。  
会社方針としては健全な材料を使用することが  
定められていて循環型であり軽量であるスーパーソルの採用に至った。

HPへリンク

